

小坂高の歩み、後世に



小坂中央公園に建立された小坂高の記念碑（成田さん提供）

同窓会

記念碑を建立

統合により3月で閉校した小坂町の小坂高校の同窓会（成田直人会長）が、同校の歴史を後世に伝えようと記念碑を同町小坂の小坂中央公園に建立した。

記念碑は台座を除き高さ1尺、幅1・2尺、奥行き20センチ。表面に校章と校歌、裏面に沿革を記している。小坂中央公園は1953〜79年に同校校舎があった場所にあり、記念碑は当時の正門付近に設置した。

同窓会は、卒業生の思い出を呼び起し、子孫にも伝えていこうと記念碑を建立。同窓会予算の残金約100万円

を設置費用に充てた。先月31日に除幕式が開かれ、同窓会は同日で解散した。

成田さんは「長い歴史のある学校が幕を閉じたのはとてもつらい。卒業生が校歌を自然と口ずさむような場所になつてもらいたい」と話した。

小坂高校は1916年、小坂町立小坂実科高等女学校として設立。48年に共学化し県立小坂高校となった。卒業生は1万1596人。鹿角市の花輪、十和田と統合し、今月、鹿角高校が開校した。